

令和9（2027）年度以降（令和8（2026）年度実施）の
入学者選抜方法の変更について — 予告（工学部第二報） —

令和7年3月に公表しております本学工学部における令和9年度以降の入学者選抜の変更について、この度第二報として下記のとおり予告します。

記

1. 一般選抜（後期日程）

令和9年度以降学科単位で当該選抜を実施する次の学科について、別紙1のとおり大学入学共通テストおよび個別学力検査等の内容（教科・科目、配点等）と第1段階の選抜における募集人員に対する倍率を公表します。

- (1) 「応用化学科」
- (2) 「化学工学科」
- (3) 「地球資源システム工学科」

なお、化学工学科においては、第1段階の選抜は行いません。

2. 総合型選抜（一般枠）

次の学科について選抜方法を変更します。

- (1) 「材料工学科」：第2次選抜における面接の内容

【現行】

面接は、個人面接とし、1人25分程度行います。

調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、審査員4人程度で材料工学に関する質問を行い、自然科学への素養や適性並びに論理的思考能力、熱意を評価します。志望理由書に科学プログラム等に参加した経験がある旨が記載されている場合には、その内容について簡単に説明を求めることもあります。なお、その場合には予め事前連絡を行います。

【令和9年度以降】

面接は、個人面接とし、1人15分程度行います。

調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、審査員3人程度で材料工学に関する質問を行い、自然科学への素養や適性、論理的思考能力、学修への熱意を評価します。加えて、材料生産プロセス、金属材料、機能材料などへの具体的な関心や、課題を主体的に発見・探究する姿勢、専門性の深化に向けた明確な意欲について確認します。

- (2) 「船舶海洋工学科」：第2次選抜における大学入学共通テストの配点

【現行】

国語	地歴及び公民	数学	理科	外国語	情報	合計
100	100	100	100	100	25	525

【令和9年度以降】

国語	地歴及び公民	数学	理科	外国語	情報	合計
100	100	100	100	100	50	550

3. 総合型選抜（女子枠）

令和 9 年度以降当該選抜を実施する次の学科について、別紙 2 のとおり選抜方法の概要を公表します。

- (1) 「材料工学科」
- (2) 「融合基礎工学科物質材料コース」
- (3) 「融合基礎工学科機械電気コース」

4. 学校推薦型選抜（一般枠・女子枠）

令和 9 年度以降当該選抜を実施する次の学科について、別紙 3 のとおり選抜方法の概要を公表します。

- (1) 「融合基礎工学科物質材料コース」（一般枠）
- (2) 「融合基礎工学科機械電気コース」（一般枠）
- (3) 「機械工学科」（女子枠）
- (4) 「量子物理工学科」（女子枠）

【別紙 1】

一般選抜（後期日程）における配点および第 1 段階選抜倍率

応用化学科

試験区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	面接	合計
共通テスト	/	/	200	300	200	50	/	750
個別試験	/	/	/	/	/	/	750	750
計	/	/	200	300	200	50	750	1500

※理科の点数の内訳は、物理100点、化学200点

第 1 段階選抜倍率
約 8 倍

化学工学科

試験区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	面接	合計
共通テスト	/	/	100	100	100	/	/	300
個別試験	/	/	/	/	/	/	/	/
計	/	/	100	100	100	/	/	300

第 1 段階選抜倍率
約 / 倍

地球資源システム工学科

試験区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	面接	合計
共通テスト	100	50	100	100	100	70	/	520
個別試験	/	/	/	/	/	/	250	250
計	100	50	100	100	100	70	250	770

第 1 段階選抜倍率
約 8 倍

令和9年度以降の九州大学工学部一般選抜（後期日程）における変更点について

現行	
各学科群共通	
大学入学共通テストで 利用する教科・科目	国語（国語） 地歴及び公民（「地理総合、地理探究」、 「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、 「公共、政治・経済」から1科目） 数学（数学Ⅰ、数学A）と（数学Ⅱ、数学B、数学C） 理科（物理、化学） 外国語（英語（リスニングを含む。）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目） 情報（情報Ⅰ） 【6教科8科目】
個別学力検査等の内容	英語（英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ） 数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C）



令和9年度以降			
応用化学科		化学工学科	地球資源システム工学科
大学入学共通テストで 利用する教科・科目	数学（数学Ⅰ、数学A）と（数学Ⅱ、数学B、数学C） 理科（物理、化学） 外国語（英語（リスニングを含む。）） 情報（情報Ⅰ） 【4教科6科目】	数学（数学Ⅰ、数学A）と（数学Ⅱ、数学B、数学C） 理科（物理、化学） 外国語（英語（リスニングを含む。）、ドイツ語、フランス語、 中国語、韓国語から1科目） 【3教科5科目】	国語（国語） 地歴及び公民（「地理総合、地理探究」、 「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、 「公共、政治・経済」 から1科目） 数学（数学Ⅰ、数学A）と（数学Ⅱ、数学B、数学C） 理科（物理、化学、生物、地学から2科目。ただし、物理、化学 から1科目必ず選択） 外国語（英語（リスニングを含む。）、ドイツ語、フランス語、 中国語、韓国語から1科目） 情報（情報Ⅰ） 【6教科8科目】
個別学力検査等の内容	面接	個別学力検査等を実施しない	面接

令和9年度より新たに実施する九州大学工学部総合型選抜について

材料工学科（女子枠）

女子枠における求める人材像	材料工学に対する関心を持ち、多様な学習経験を活かしながら、基礎からの学びに意欲的に取り組む姿勢を有する者。学びの過程に柔軟に適応し、専門性を着実に高めるとともに、地道な努力を継続できる学修習慣を備えた者。将来的に、材料工学の専門性を基盤として社会に貢献する意識を持つ者。														
出願資格	現在実施している総合型選抜（一般枠）の出願資格と同様の内容とします。														
募集人員	5人														
入学者選抜方法	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、面接（試問を含む）及び大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。</p> <p>【大学入学共通テストの教科・科目（6教科8科目）】</p> <p>国語（国語） 地歴及び公民（「地理総合、地理探究」、 「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、 「公共、政治・経済」から1科目）</p> <p>数学（数学Ⅰ、数学A）と（数学Ⅱ、数学B、数学C） 理科（物理、化学、生物、地学から2科目。ただし、物理、化学から1科目必ず選択） 外国語（英語（リスニングを含む。）） 情報（情報Ⅰ）</p> <p>【面接の内容】</p> <p>面接は、個人面接とし、1人15分程度行います。 調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、審査員3人程度で材料工学に関する質問を行い、自然科学への素養や適性、論理的思考能力、学修への熱意を評価します。加えて、材料生産プロセス、金属材料、機能材料などへの具体的な関心、基礎からの学びに対する意欲、柔軟な学びへの適応力、ならびに地道な努力を継続する姿勢等について確認します。</p>														
合否判定基準（第1次選抜）	調査書又は調査書に代わる書類を50点満点、志望理由書を50点満点で評価し、各評価を合わせて3段階（ABC）で総合評価します。														
合否判定基準（第2次選抜）	<p>面接を100点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テスト成績（100点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。</p> <p>なお、「面接」及び「大学入学共通テスト（各科目・教科）」の各得点において、本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。</p> <p>大学入学共通テストの配点</p> <table border="0"> <tr><td>国語</td><td>50点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>25点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>100点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>100点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>100点（英語）</td></tr> <tr><td>情報</td><td>50点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>425点</td></tr> </table> <p>・英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。</p> <p>・大学入学共通テストの成績は、合計点を100点満点に換算します。</p>	国語	50点	地歴及び公民	25点	数学	100点	理科	100点	外国語	100点（英語）	情報	50点	合計	425点
国語	50点														
地歴及び公民	25点														
数学	100点														
理科	100点														
外国語	100点（英語）														
情報	50点														
合計	425点														
一般枠と女子枠の違い	女子枠は、これまでの多様な学習経験を活かしつつ基礎から学ぶことに意欲的に取り組み、将来、材料工学分野で活躍できる女性人材の育成を目的として設置されるものです。そのため、女子枠では幅広い学習背景を持つ受験生を考慮して、理科二科目中一科目は化学または物理から選択することとしています。女子枠では特に「材料工学への関心」、「学び続ける意欲」、「学んだことを新たに応用する力」等の観点に重点をおいて判定にあたります。														

融合基礎工学科物質材料コース（女子枠）

女子枠における求める人材像	基礎学力を十分に備え、自分の考えを論理的かつ明快に説明できる能力を有する者。環境・エネルギー問題に代表される多様で複雑なグローバルな課題の解決に強い関心を持ち、関連する学問を積極的に学ぶ意欲と自主性を有する者。将来的に、融合基礎工学科で学んだ専門性を基盤として社会に貢献する意識を持つ者。														
出願資格	現在実施している総合型選抜（一般枠）の出願資格と同様の内容とします。														
募集人員	2人														
入学者選抜方法	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、課題探求試験、面接（試問を含む）及び大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。</p> <p>【大学入学共通テストの教科・科目（6教科8科目）】 国語（国語） 地歴及び公民（「地理総合、地理探究」、 「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、 「公共、政治・経済」から1科目） 数学（数学Ⅰ、数学A）と（数学Ⅱ、数学B、数学C） 理科（物理、化学） 外国語（英語（リスニングを含む。）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目） 情報（情報Ⅰ）</p> <p>【課題探求試験の内容】 数学、物理、化学等に関する課題を提示し、論理的思考能力、整理分析能力、総合的判断能力などを確認します。</p> <p>【面接の内容】 面接は、個人面接とし、1人15分程度行います。 調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、審査員3人で志望動機、入学後の抱負、将来の目標に関する質問を行い、融合基礎工学科で学ぶ熱意及び適性・能力を評価します。 また、試問により工学全般を学ぶための基礎学力の有無を確認します。</p>														
合否判定基準（第1次選抜）	調査書又は調査書に代わる書類を50点満点、志望理由書を50点満点で評価し、各評価を合わせて3段階（ABC）で総合的に評価します。														
合否判定基準（第2次選抜）	<p>課題探求試験を70点満点、面接を30点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テスト成績（200点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。</p> <p>なお、「課題探求試験」、「面接」及び「大学入学共通テスト（各科目・教科）」の各得点のいずれかにおいて、本コースでの修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。</p> <p>大学入学共通テストの配点</p> <table border="0"> <tr><td>国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>50点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>200点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>200点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>情報</td><td>70点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>720点</td></tr> </table> <p>・英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。</p> <p>・大学入学共通テストの成績は、合計点を200点満点に換算します。</p>	国語	100点	地歴及び公民	50点	数学	200点	理科	200点	外国語	100点	情報	70点	合計	720点
国語	100点														
地歴及び公民	50点														
数学	200点														
理科	200点														
外国語	100点														
情報	70点														
合計	720点														
一般枠と女子枠の違い	総合型選抜試験では、一般枠と女子枠で評価尺度を区別しています。女子枠は、工学部への女子学生の進学を後押しし、新しい価値観や発想を生み出すことを目的として設置されるものです。女子枠においては、人物評価のための課題探求試験や面接試験の結果に加え、高等学校で培われた学際的な視点や知的探求心を基盤とした総合的な学力を重視します。こうした趣旨に基づき、一般枠と比較して、共通テストの得点を人物評価点に対してより高い比率で反映させる仕組みとしています。														

融合基礎工学科機械電気コース（女子枠）

女子枠における求める人材像	基礎学力を十分に備え、自分の考えを論理的かつ明快に説明できる能力を有する者。環境・エネルギー問題に代表される多様で複雑なグローバルな課題の解決に強い関心を持ち、関連する学問を積極的に学ぶ意欲と自主性を有する者。将来的に、融合基礎工学科で学んだ専門性を基盤として社会に貢献する意識を持つ者。														
出願資格	現在実施している総合型選抜（一般枠）の出願資格と同様の内容とします。														
募集人員	2人														
入学者選抜方法	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、面接（試問を含む）及び大学入学共通テストの成績の総合評価により選抜を行います。</p> <p>【大学入学共通テストの教科・科目（6教科8科目）】 国語（国語） 地歴及び公民（「地理総合、地理探究」、 「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、 「公共、政治・経済」から1科目） 数学（数学Ⅰ、数学A）と（数学Ⅱ、数学B、数学C） 理科（物理、化学） 外国語（英語（リスニングを含む。）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目） 情報（情報Ⅰ）</p> <p>【面接の内容】 面接は、個人面接とし、1人につき15分程度行います。 調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、5人程度の審査員により志望動機、入学後の抱負、将来の目標に関する質問を行い、融合基礎工学科（機械電気コース）で学ぶ熱意及び適性・能力を評価します。 また、試問により工学全般を学ぶための基礎学力を確認します。</p>														
合否判定基準（第1次選抜）	調査書又は調査書に代わる書類を50点満点、志望理由書を50点満点で評価し、各評価を合わせて3段階（ABC）で総合的に評価します。														
合否判定基準（第2次選抜）	<p>面接を100点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テスト成績（200点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。</p> <p>なお、「面接」及び「大学入学共通テスト（各科目・教科）」の各得点のいずれかにおいて、本コースでの修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。</p> <p>大学入学共通テストの配点</p> <table border="0"> <tr><td>国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>50点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>200点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>200点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>情報</td><td>70点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>720点</td></tr> </table> <p>・英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。</p> <p>・大学入学共通テストの成績は、合計点を200点満点に換算します。</p>	国語	100点	地歴及び公民	50点	数学	200点	理科	200点	外国語	100点	情報	70点	合計	720点
国語	100点														
地歴及び公民	50点														
数学	200点														
理科	200点														
外国語	100点														
情報	70点														
合計	720点														
一般枠と女子枠の違い	総合型選抜試験では、一般枠と女子枠で評価尺度を区別しています。女子枠は、工学部への女子学生の進学を後押しし、新しい価値観や発想を生み出すことを目的として設置されるものです。女子枠においては、人物評価のための面接試験の結果に加え、高等学校で培われた学際的な視点や知的探求心を基盤とした総合的な学力を重視します。こうした趣旨に基づき、一般枠と比較して、共通テストの得点を人物評価点に対してより高い比率で反映させる仕組みとしています。														

令和9年度より新たに実施する九州大学工学部学校推薦型選抜について

融合基礎工学科物質材料コース（一般枠）

出願資格	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、下記の推薦要件を満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和7（2025）年4月から令和9（2027）年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7（2025）年4月から令和9（2027）年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を令和7（2025）年4月から令和9（2027）年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>○推薦要件</p> <p>(1) 融合基礎工学科のアドミッションポリシーに加え、学校推薦型選抜にて求める学生像に合致し、物質材料コースで学ぶ強い志がある者</p> <p>(2) 融合基礎工学科が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者</p> <p>(3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者</p> <p>(注意)</p> <p>(1) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部のみです。</p> <p>(2) この選抜に出願した場合、本学の学部（学科・専攻・コース）で実施される総合型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。</p> <p>(3) 国公立大学の一般選抜の出願を行う場合、その出願先は自由に選択できます（前期日程で融合基礎工学科物質材料コースが含まれるⅡ群に出願しなければならないなどの制限はありません）。</p>														
募集人員	3人														
入学者選抜方法	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜</p> <p>提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。なお、第1次選抜の合格者は、募集人員の3倍程度を上限とします。</p> <p>(2) 第2次選抜</p> <p>第1次選抜の合格者に対して、面接を課し、大学入学共通テストの成績及び調査書及び調査書に代わる書類等の評価と合わせて総合評価により選抜を行います。</p> <p>【大学入学共通テストの教科・科目（6教科8科目）】</p> <p>国語（国語）</p> <p>地歴及び公民（「地理総合、地理探究」、 「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、 「公共、政治・経済」から1科目）</p> <p>数学（数学Ⅰ、数学A）と（数学Ⅱ、数学B、数学C）</p> <p>理科（物理、化学）</p> <p>外国語（英語（リスニングを含む。）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目）</p> <p>情報（情報Ⅰ）</p> <p>【面接の内容】</p> <p>面接は、個人面接とし、1人15分程度行います。環境・エネルギー問題に代表される多様で複雑なグローバルな課題の解決に強い関心を持ち、関連する学問を学ぶ熱意および適性・能力を評価します。</p>														
合否判定基準 （第1次選抜）	調査書又は調査書に代わる書類を50点満点、志望理由書を50点満点で評価し、各評価と提出された推薦書の内容に基づいて3段階（ABC）で総合的に評価します。														
合否判定基準 （第2次選抜）	<p>面接を100点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テスト成績（200点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。</p> <p>なお、「面接」と「大学入学共通テスト（各科目・教科）」の各得点のいずれかにおいて、本コースでの修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。</p> <p>大学入学共通テストの配点</p> <table border="0"> <tr><td>国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>50点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>200点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>200点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>情報</td><td>70点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>720点</td></tr> </table> <p>・英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。</p> <p>・大学入学共通テストの成績は、合計点を200点満点に換算します。</p>	国語	100点	地歴及び公民	50点	数学	200点	理科	200点	外国語	100点	情報	70点	合計	720点
国語	100点														
地歴及び公民	50点														
数学	200点														
理科	200点														
外国語	100点														
情報	70点														
合計	720点														

融合基礎工学科機械電気コース（一般枠）

<p>出願資格</p>	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、下記の推薦要件を満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和7（2025）年4月から令和9（2027）年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7（2025）年4月から令和9（2027）年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を令和7（2025）年4月から令和9（2027）年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>○推薦要件</p> <p>(1) 融合基礎工学科のアドミッションポリシーに加え、学校推薦型選抜にて求める学生像に合致し、機械電気コースで学ぶ強い志がある者</p> <p>(2) 融合基礎工学科が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者</p> <p>(3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者</p> <p>(注意)</p> <p>(1) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部のみです。</p> <p>(2) この選抜に出願した場合、本学の学部（学科・専攻・コース）で実施される総合型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。</p> <p>(3) 国公立大学の一般選抜の出願を行う場合、その出願先は自由に選択できます（前期日程で融合基礎工学科機械電気コースが含まれるⅢ群に出願しなければならないなどの制限はありません）。</p>														
<p>募集人員</p>	<p>3人</p>														
<p>入学者選抜方法</p>	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。なお、第1次選抜の合格者は、募集人員の3倍程度を上限とします。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対して、面接を課し、大学入学共通テストの成績及び調査書及び調査書に代わる書類等の評価と合わせて総合評価により選抜を行います。</p> <p>【大学入学共通テストの教科・科目（6教科8科目）】</p> <p>国語（国語） 地歴及び公民（「地理総合、地理探究」、 「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、 「公共、政治・経済」から1科目） 数学（数学Ⅰ、数学A）と（数学Ⅱ、数学B、数学C） 理科（物理、化学） 外国語（英語（リスニングを含む。）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目） 情報（情報Ⅰ）</p> <p>【面接の内容】 面接は、個人面接とし、1人15分程度行います。環境・エネルギー問題に代表される多様で複雑なグローバルな課題の解決に強い関心を持ち、関連する学問を学ぶ熱意および適性・能力を評価します。</p>														
<p>合否判定基準 (第1次選抜)</p>	<p>調査書又は調査書に代わる書類を50点満点、志望理由書を50点満点で評価し、各評価と提出された推薦書の内容に基づいて3段階（ABC）で総合的に評価します。</p>														
<p>合否判定基準 (第2次選抜)</p>	<p>面接を100点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テスト成績（200点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。</p> <p>なお、「面接」及び「大学入学共通テスト（各科目・教科）」の各得点のいずれかにおいて、本コースでの修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。</p> <p>大学入学共通テストの配点</p> <table border="1" data-bbox="384 1720 560 1912"> <tr><td>国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>50点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>200点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>200点</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>情報</td><td>70点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>720点</td></tr> </table> <p>・英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。</p> <p>・大学入学共通テストの成績は、合計点を200点満点に換算します。</p>	国語	100点	地歴及び公民	50点	数学	200点	理科	200点	外国語	100点	情報	70点	合計	720点
国語	100点														
地歴及び公民	50点														
数学	200点														
理科	200点														
外国語	100点														
情報	70点														
合計	720点														

機械工学科（女子枠）

<p>女子枠における求める人材像</p>	<p>機械要素、機械システムなどの人類の文明生活を支える“ものづくり”の技術が様々な学問の上に作り上げられてきたことを理解し、社会のニーズに応じて広い視野と豊かな人間性を持って活躍する技術者・研究者として成長しうる者。</p>
<p>出願資格</p>	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、下記の推薦要件を満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる女子とします。ただし、高等学校等の長が推薦できる人数は、1校につき2人以内とします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和7（2025）年4月から令和9（2027）年3月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7（2025）年4月から令和9（2027）年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を令和7（2025）年4月から令和9（2027）年3月までに修了又は修了見込みの者</p> <p>○推薦要件</p> <p>(1) 機械工学科のアドミッションポリシーに加え、学校推薦型選抜（女子枠）にて求められる学生像に合致し、人物および学業に優れる者で、特に理数系科目が優秀である者</p> <p>(2) 機械工学科が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者</p> <p>(3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者</p> <p>(注意)</p> <p>(1) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部のみです。</p> <p>(2) この選抜に出願した場合、本学の学部（学科・専攻・コース）で実施される総合型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。</p> <p>(3) 国公立大学の一般選抜の出願を行う場合、その出願先は自由に選択できます（前期日程で機械工学科が含まれるⅢ群に出願しなければならないなどの制限はありません）。</p>
<p>募集人員</p>	<p>7人</p>
<p>入学者選抜方法</p>	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <p>(1) 第1次選抜 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。</p> <p>(2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、面接（試問を含む）を課し、大学入学共通テストの成績及び提出書類内容の内容と合わせて総合評価により選抜を行います。</p> <p>【大学入学共通テストの教科・科目（2教科3科目）】 数学（数学Ⅰ、数学A）と（数学Ⅱ、数学B、数学C） 理科（物理）</p> <p>【面接の内容】 面接は、審査員3人程度による個人面接とし、10分程度行います。調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書を資料とし、機械工学科を志望する理由などに関する質問を行い、機械工学を学ぶ熱意及び適性・能力を評価します。</p>
<p>合否判定基準 (第1次選抜)</p>	<p>調査書又は調査書に代わる書類を5段階（5～1）、志望理由書を5段階（5～1）で評価し、各評価と提出された推薦書を合わせて3段階（ABC）で総合評価します。</p>
<p>合否判定基準 (第2次選抜)</p>	<p>面接を100点満点で評価し、令和9（2027）年度大学入学共通テスト成績（100点満点）と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。</p> <p>なお、「面接」及び「大学入学共通テスト（各科目・教科）」の各得点のいずれかにおいて、本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。</p> <p>大学入学共通テストの配点</p> <p>数 学 200点 理 科 100点（物理） 合 計 300点</p> <p>・大学入学共通テストの成績は、合計点を100点満点に換算します。</p>

量子物理工学科（女子枠）

<p>女子枠における求める人材像</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・量子物理工学科のアドミッションポリシーに合致する者 ・最先端の物理学の工学への応用に興味を持ち、将来的に量子物理学に関わる科学・工学分野で活躍することに熱意を持つ者 ・高等学校の基本科目（数学、物理、化学）を熱心に学んできたと自負し、国語、社会、外国語、社会科学など文化諸科目の習得にも等しく情熱を有する者。 														
<p>出願資格</p>	<p>次の各項のいずれかに該当する者で、下記の推薦要件を満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和7（2025）年4月から令和9（2027）年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7（2025）年4月から令和9（2027）年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を令和7（2025）年4月から令和9（2027）年3月までに修了又は修了見込みの者 <p>○推薦要件</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 量子物理工学科のアドミッションポリシーに加え、学校推薦型選抜にて求める学生像に合致し、量子物理工学科で学ぶ強い志がある者 (2) 量子物理工学科が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者 <p>(注意)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部のみです。 (2) この選抜に出願した場合、本学の学部（学科・専攻・コース）で実施される総合型選抜、国際入試（教育学部）との併願はできません。 (3) 国公立大学の一般選抜の出願を行う場合、その出願先は自由に選択できます（前期日程で量子物理工学科が含まれるⅢ群に出願しなければならないなどの制限はありません）。 														
<p>募集人員</p>	<p>3人</p>														
<p>入学者選抜方法</p>	<p>第1次選抜及び第2次選抜により行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 第1次選抜 提出された推薦書、調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書の総合評価により選抜を行います。 (2) 第2次選抜 第1次選抜の合格者に対し、面接を課し、大学入学共通テストの成績及び調査書及び調査書に代わる書類等の評価と合わせて総合評価により選抜を行います。 <p>【大学入学共通テストの教科・科目（6教科8科目）】</p> <p>国語（国語） 地歴及び公民（「地理総合、地理探究」、 「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、 「公共、倫理」、 「公共、政治・経済」から1科目） 数学（数学Ⅰ、数学A）と（数学Ⅱ、数学B、数学C） 理科（物理、化学） 外国語（英語（リスニングを含む。）） 情報（情報Ⅰ）</p> <p>【面接の内容】</p> <p>面接は、個人面接とし、1人20分程度行います。自然科学への素養や適性、量子物理学を学ぶ熱意および論理的思考能力を評価します。</p>														
<p>合否判定基準（第1次選抜）</p>	<p>調査書又は調査書に代わる書類及び志望理由書をそれぞれ5段階（5～1）で評価し、各評価と提出された推薦書を合わせて3段階（ABC）で総合評価します。</p>														
<p>合否判定基準（第2次選抜）</p>	<p>面接を100点満点で、令和9（2027）年度大学入学共通テスト成績を100点満点で評価し、第1次選抜の評価と合わせて3段階（ABC）で総合評価します。</p> <p>なお、「面接」及び「大学入学共通テスト（各科目・教科）」の各得点のいずれかにおいて、本学科での修学に支障があると判断される場合、不合格となることがあります。</p> <p>大学入学共通テストの配点</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>国語</td><td>100点</td></tr> <tr><td>地歴及び公民</td><td>50点</td></tr> <tr><td>数学</td><td>250点</td></tr> <tr><td>理科</td><td>250点（ただし、物理、化学のうち成績の高い科目を150点、低い方を100点とする。）</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>100点（英語）</td></tr> <tr><td>情報</td><td>50点</td></tr> <tr><td>合計</td><td>800点</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・英語はリスニングの成績も利用します。利用に当たっては、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点を100点満点に換算します。ただし、大学入学共通テストにおいて、リスニングを免除された重度難聴者については、リーディングの成績のみを利用します。 ・大学入学共通テストの成績は、合計点を100点満点に換算します。 	国語	100点	地歴及び公民	50点	数学	250点	理科	250点（ただし、物理、化学のうち成績の高い科目を150点、低い方を100点とする。）	外国語	100点（英語）	情報	50点	合計	800点
国語	100点														
地歴及び公民	50点														
数学	250点														
理科	250点（ただし、物理、化学のうち成績の高い科目を150点、低い方を100点とする。）														
外国語	100点（英語）														
情報	50点														
合計	800点														

●令和9年度以降の募集人員

学部	学科等	入学定員	募集人員											備考
			一般選抜		総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ			学校推薦型選抜		帰国生徒選抜	私費外国人留学生入試	私費外国人留学生入試	
			前期日程	後期日程	次世代* ¹	一般枠	女子枠	次世代* ²	一般枠	女子枠		(4月入学)	(10月入学)	
工学部	電気情報工学科	153人	I群	118人	/	/	10人	/	(若干名)	/	/	/	/	(若干名)
	材料工学科	53人	II群	116人	/	(若干名)	6人	5人	(若干名)	/	/	/	/	/
	応用化学科	72人			10人	/	4人	/	(若干名)	/	/	(若干名)	(若干名)	
	化学工学科	38人			5人	(若干名)	2人	(若干名)	/	/	/	/	/	
	融合基礎工学科 物質材料コース 機械電気コース	57人	III群	162人	/	(若干名)	8人	2人	(若干名)	3人	/	/	(若干名)	/
	機械工学科	135人			/	/	/	/	/	7人	/	/	(若干名)	
	航空宇宙工学科	29人			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	量子物理工学科	38人			/	/	4人	/	/	/	3人	/	/	
	船舶海洋工学科	34人	IV群	101人	/	/	8人	/	/	/	/	/	/	/
	地球資源システム工学科	34人			5人	(若干名)	2人	(若干名)	/	/	/	/	/	
	土木工学科	77人			/	/	8人	/	/	/	/	/	(若干名)	
	建築学科	58人	V群	46人	/	/	6人	/	/	/	/	(若干名)	/	
	学部一括	/	VI群	124人	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
合計	778人		667人	20人	(若干名)	66人	9人	(若干名)	6人	10人	(若干名)	(若干名)		

*1 次世代研究者発掘入試Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）を実施

*2 次世代研究者発掘入試Ⅱ（大学入学共通テストを課す）を実施